

各位

軟弱地盤研究会（第114回）案内

会長 三浦哲彦

日時：平成27年4月24日（金）14時～16時  
場所：建設業協会佐賀、2階会議室  
佐賀市兵庫南2-13-15 電話0952-24-2711

話題：厚い超軟弱地盤上の高速盛土による洪積粘性土の圧密沈下  
～舞鶴若狭自動車道若狭地区～

講演者：中日本高速道路（株）名古屋支社 稲垣 太浩 氏

概要：講師から下記の概要をいただきました。

2014年に開通した舞鶴若狭自動車道の若狭上中ICから若狭三方IC間に位置する若狭地区は、厚さ30～50m堆積した我が国でも珍しい超軟弱地盤地帯である。極めて軟弱で厚い粘性土地盤上に盛土を施工した3つの沈下挙動を示し、現場で実践した取組みから得た教訓を述べる。以下に3つ事例の概要を示す。

- (1) 鳥浜①地区は、沖積層の層厚が15～20m程度であり、沖積層以深には、粘性土と砂質土が互層を成す洪積層が厚く分布し、圧密沈下予測量は、沖積層で約1.7m、洪積層で約0.4mと予想された。盛土構築した後の実測沈下量は、沖積層では予測沈下量とは良い対応したが、洪積層は予測を超え全体で1.0mを超える大きな沈下が発生した事例。
- (2) プレロードを兼ねた向笠試験盛土では、盛立て中の安定のみを考慮して深さ20mまでバーチカルドレーンで地盤処理した。盛土中央の沈下量が約11mlに及んだ時点で、カルバートボックス（以下、「C-BOX」と称す）を構築にあたり、深部の無処理地盤で大きな残留沈下がすることがわかり、背面盛土をFCBで置き換え、杭基礎なしのC-BOXを構築した事例。
- (3) 鳥浜②地区では、向笠試験盛土と同様に盛土中央の沈下量が約11mlに及んだ後、C-BOXを構築したが、向笠試験盛土の経験を生かし沈下を考慮し事前にバーチカルドレーンを広く深く地盤処理した結果、上げ越しと断面余裕のみ対処できた事例。

※参加希望の方は必ず事前にメール、またはFAXでご連絡ください。  
当日の申し込みは出来るだけご遠慮ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。  
それ以外の方は資料代（1,000円）が必要です。

※参加証明書について  
参加証明書は研究会の終了後に受付にて必要な方に配布します。

=====  
研究会担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）  
E-mail: jimukyoku@sunny.ocn.ne.jp  
URL: <http://www18.ocn.ne.jp/~nanjaku/>  
Tel: 0952-41-8840/Fax: 0952-41-8373  
Address: 〒840-0811 佐賀市大財4丁目1番52号  
軟弱地盤研究会事務局  
=====